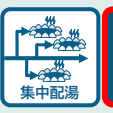




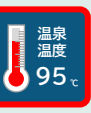
草津温泉



熱供給



集中配湯



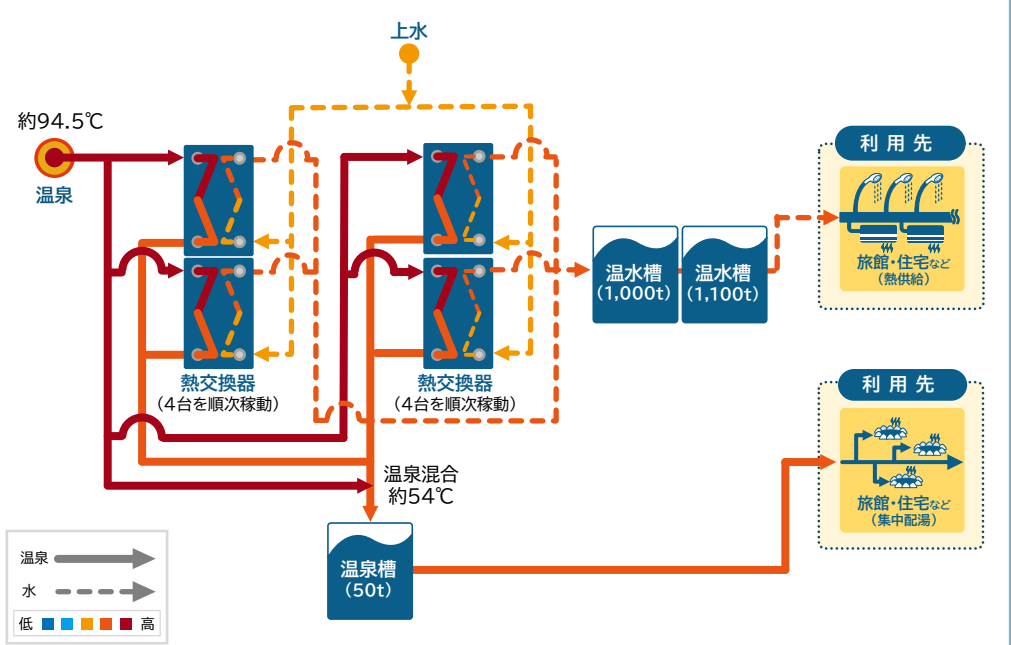
温泉
温度
95℃

概要

温泉の集中管理方式での配湯を町で運営している。また、温泉(94.5℃)を熱交換器を用い、上水と熱交換を行い60℃の温水を作っている。旅館等へは54℃の温泉の配湯と55℃程度の温水供給を、地区内の住宅へは55℃程度の温水を供給している。その他、温泉熱を活用した暖房利用や融雪利用も行っている



泉質	硫黄泉,酸性-塩化物,硫酸塩温泉	CO ₂ 排出量 削減効果	エネルギーコスト 削減効果
熱利用温度	95℃	9,381 t-CO ₂ /年相当 削減 ※1	89% 削減 ※1
利用温泉	既存温泉		
総事業費	-		



主な温泉熱利用方法

※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。
※ 1: CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値です



城崎温泉



集中配湯



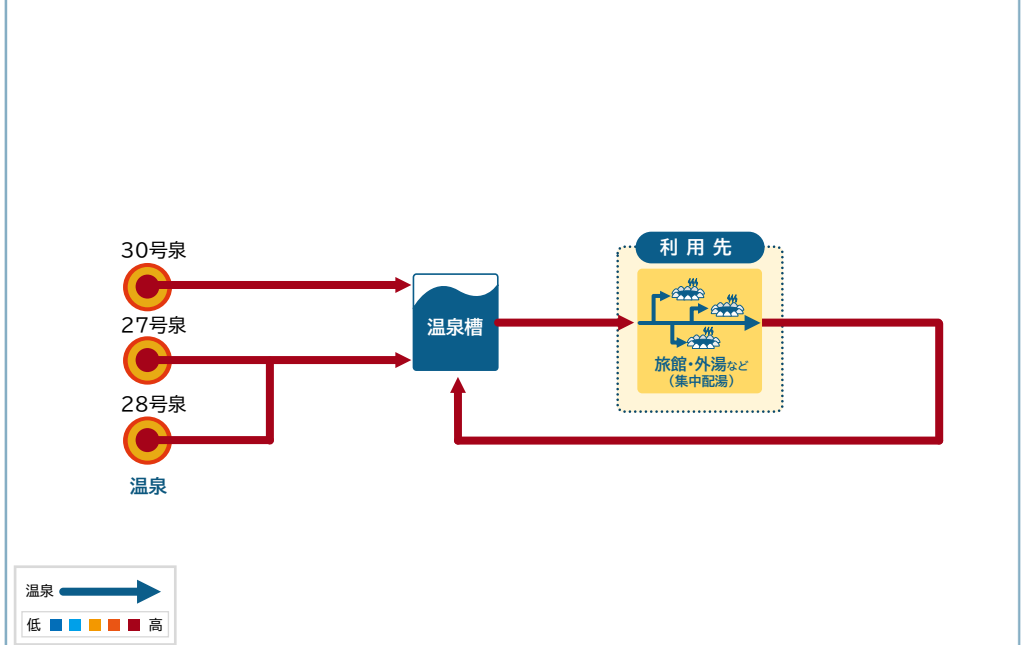
温泉
温度
76℃

概要

点在する源泉より温泉を汲み上げ、中央温泉タンクに貯め、城崎温泉街の旅館や外湯施設へ集中管理方式により配湯している(汲み上げられた温泉温度は30℃~70℃とさまざまだが、タンク内温度は年間を通し60℃を基本としている)。また、集中配湯以外の温泉熱利用として、外湯の脱衣所での床暖房利用も行っている。



泉質	塩化物泉
熱利用温度	70℃
利用温泉	新規温泉
総事業費	-



主な温泉熱利用方法

※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。
※ 温泉熱利用に係る事業費等が不明のため、CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、算出しておりません。